

平成24年度 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 決算概要

1 財務諸表の概要

(1)貸借対照表

平成25年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	207.5 億円	固定負債	168.1 億円
土地	22.3 億円	流動負債	52.4 億円
建物	161.0 億円		
流動資産	153.3 億円	【純資産の部】	
現金及び預金	119.0 億円	資本金	108.6 億円
		資本剰余金	39.8 億円
		繰越欠損金	▲ 8.2 億円
計	360.8 億円	計	360.8 億円

(2)損益計算書

平成24年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純利益を表示

収益総額	195.6 億円
営業収益	192.7 億円
営業外収益	2.8 億円
臨時利益	0.1 億円
費用総額	190.3 億円
営業費用	182.8 億円
営業外費用	6.8 億円
臨時損失	0.7 億円
当期純利益	5.3 億円

* 当期純利益は、前期繰越欠損金と合算し、次期繰越欠損金として処理する。

(3)キャッシュ・フロー計算書

平成24年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	24.6 億円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 32.3 億円
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1.2 億円
IV 資金減少額	▲ 8.9 億円
V 資金期首残高	27.9 億円
VI 資金期末残高	19.0 億円

(4)行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 業務費用	6.9 億円
(1) 損益計算書上の費用	190.2 億円
(2) 自己収入等(控除)	▲ 183.3 億円
II 機会費用	0.8 億円
III 行政サービス実施コスト	7.7 億円

2 収支の状況

(1) 収支概要

平成24年度純利益…… 534,011千円 →891,474千円(対前年度差額)
 (平成23年度純損失……▲357,463千円)

・収益については、入院・外来診療単価、外来患者数の増加により医業収益が増加したため、前年度比で約6%増加となった。
 ・費用については、給与費や材料費等の増加があったものの、減価償却費の減少等により約1%の増加に抑えられた。
 ・収支差については、独立行政法人化後、初めて約5億3千万円の黒字となった。

(2) 前年度比収支状況

(単位: 億円)

	H23年度	H24年度	H24-H23	対前年度比	参 考
収益	184.2	195.6	11.4	106%	診療単価 (H23) (H24)
営業収益	181.1	192.7	11.6	106%	入院 64,741円 → 69,624円
うち入院収益	125.4	134.6	9.2	107%	外来 14,348円 → 14,527円
うち外来収益	41.0	43.3	2.3	106%	
うち運営費負担金	8.9	9.1	0.2	102%	患者数 (H23) (H24)
営業外収益	2.9	2.8	▲ 0.1	97%	入院 193,205人 → 192,695人
うち運営費負担金	2.2	1.7	▲ 0.5	77%	外来 285,186人 → 297,289人
臨時利益	0.2	0.1	▲ 0.1	50%	
費用	187.8	190.2	2.4	101%	一般病床利用率 (H23) (H24)
営業費用	179.0	182.8	3.8	102%	89.5% → 90.0%
うち給与費	79.8	85.2	5.4	107%	
うち材料費	49.1	50.5	1.4	103%	
うち経費	26.3	27.1	0.8	103%	
うち減価償却費	22.8	18.7	▲ 4.1	82%	
営業外費用	7.1	6.8	▲ 0.3	96%	
臨時損失	1.6	0.7	▲ 0.9	44%	
収支差	▲ 3.6	5.3	8.9	-	

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益 (9.2億円増) 診療単価の増加、一般病床利用率の向上によるもの
 うち外来収益 (2.3億円増) 診療単価・患者数の増加によるもの

イ 営業費用

うち給与費 (5.4億円増) 職員の増員によるもの
 うち材料費 (1.4億円増) 医業収益の増加によるもの
 うち経費 (0.8億円増) 光熱費等の増加によるもの
 うち減価償却費 (4.1億円減) 本館建設時に導入した多くの医療器械の耐用年数の到来によるもの

ウ 臨時損失

H23年度環境対策引当金繰入額の計上等に伴う反動減によるもの (0.9億円減)